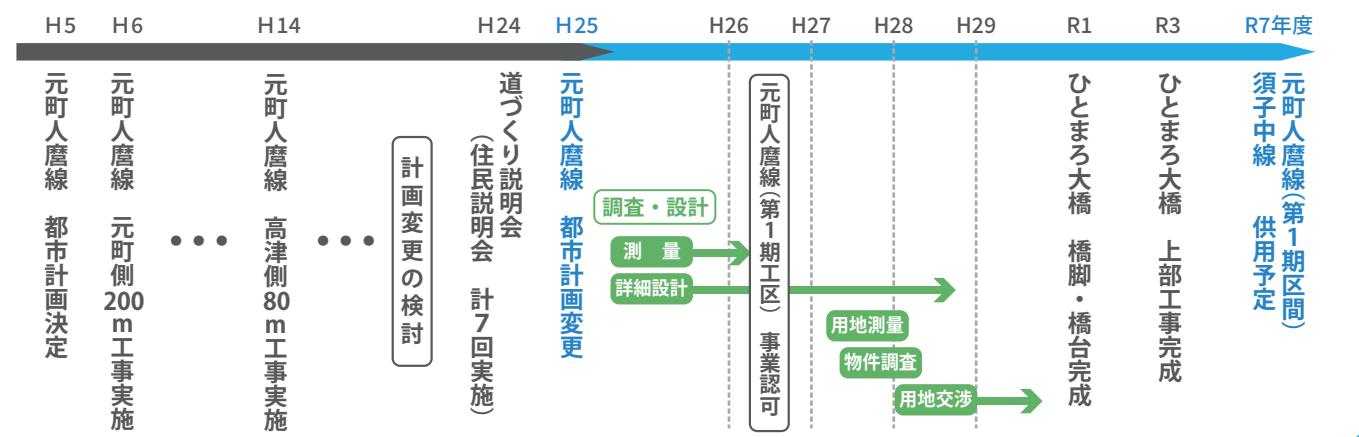


事業の経緯

『都市計画道路元町人磨線』は、平成5年に都市計画決定されて平成6年、14年に一部区間で工事を実施しました。以降、都市計画決定時から月日が流れ、周辺環境の変化から計画の変更が必要となり、平成25年に都市計画変更を行い、着実に整備を進めています。



市民参加の道づくり

■橋面お絵描きイベント

地元保育園の園児を招待して、橋面にお絵描きをしてもらいました。



須子保育園・高津保育園の園児たち

■ひとまろ大橋の橋名板の作成 ■ひとまろ大橋の現場説明会

ひとまろ大橋の橋名板を地元の小学校の児童に書いてもらいました。

橋の親柱に橋名板を設置しています。



高津小学校の6年生のみなさん



高津中学校の1年生のみなさん

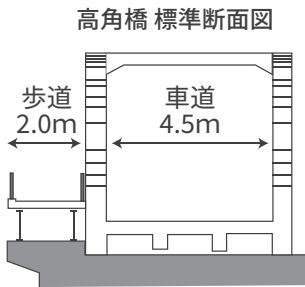
TOPICS 土木遺産 ~高角橋~

現在、高津川を渡河し、高津地区と益田市街地部を連絡する高角橋は、昭和17年に架けられたもので、耐震性能が不足しており、また、歩道部も車道部も幅員が狭く、通行しにくい橋となっています。

しかし、高角橋は全国的にも大規模で、島根県においては唯一の鉄筋コンクリートローゼ桁橋で、清流高津川に映える5連アーチが美しい橋として、平成23年に県内では4番目となる土木学会選奨土木遺産に認定された歴史的価値のある土木構造物となっています。



幅員狭小のため大型車通行規制
歩道が狭く自転車・歩行者の通行に支障
耐震性能が不十分



清流高津川に架かる5連アーチの美しい高角橋



都市計画道路

元町人磨線・須子中線



島根県 益田県土整備事務所

〒690-0007 島根県益田市昭和町13-1(益田合同庁舎4階) TEL:(0856)31-9678

令和4年12月作成

島根県益田県土整備事務所

島根
SHIMANE SOUSEI
創生

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる

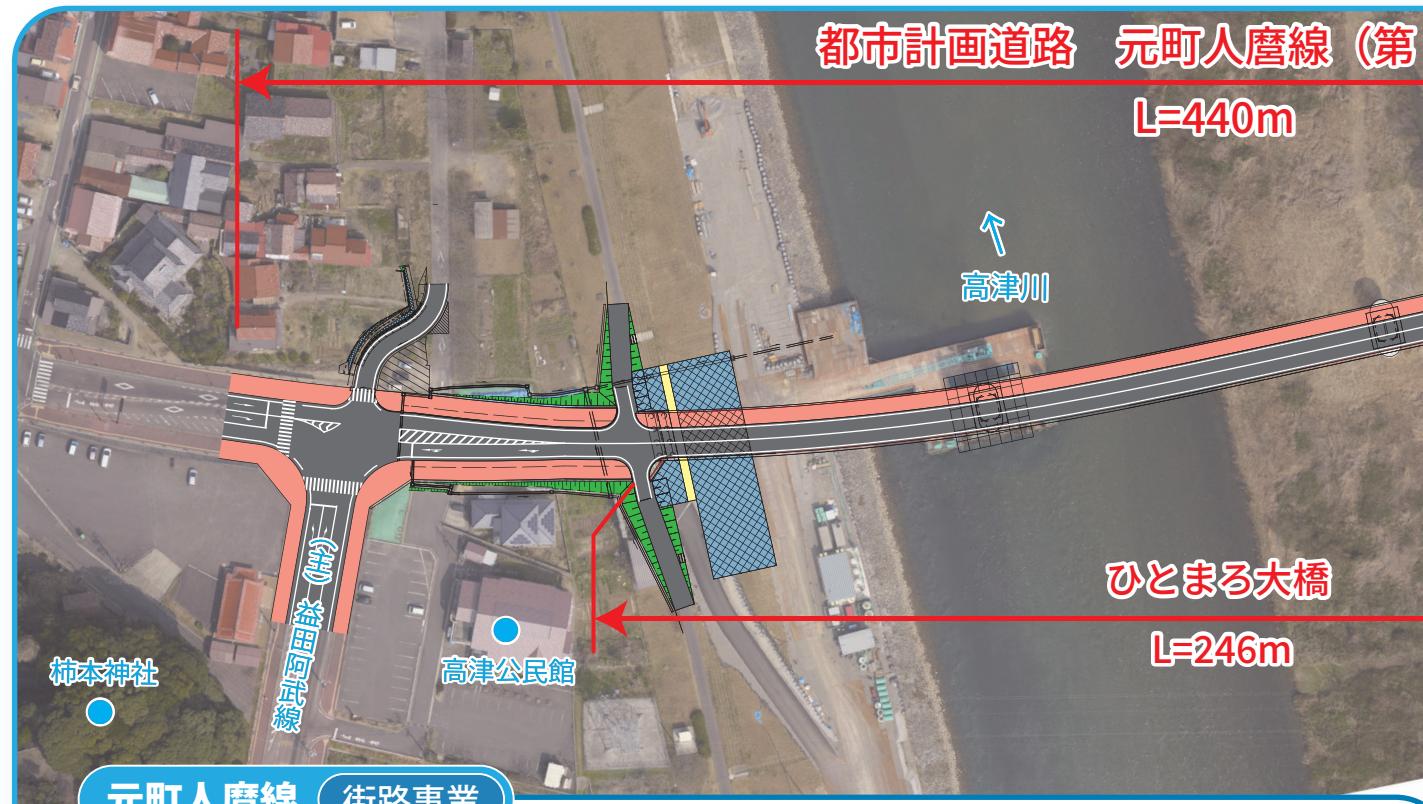
都市計画道路

元町人磨線・須子中線

『都市計画道路 元町人磨線』は、益田駅前地区と高津地区を結ぶ道路であり、地域間交流や物流の円滑化、渋滞緩和の効果が期待されるほか、災害時の避難路としても機能する重要な路線です。

現在、高津川を渡河し、国道9号と主要地方道益田阿武線を連絡する『都市計画道路 元町人磨線（第1期区間）』とそのアクセス道路である『都市計画道路 須子中線』の整備を進めており、令和7年度に供用を予定しています。

これまで益田市街地南部から高津地区への渡河ルートであった高角橋は、車道・歩道ともに幅員が狭く、車のすれ違いや歩行者・自転車の通行に支障をきたしていましたが、元町人磨線及び須子中線が供用することにより、大型車も通行できる安全なネットワークを形成することができます。



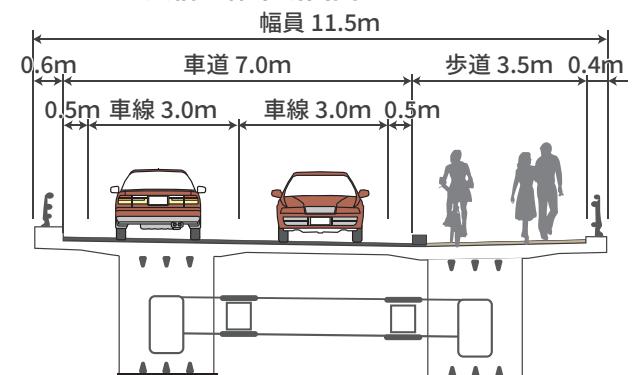
元町人磨線 街路事業

■事業概要

路線名 3・4・14 元町人磨線
工事延長 440m
車線数 2車線
道路幅員 10.5m(車道7.0m、歩道3.5m)
概算事業費 約56億円
事業年度 平成26年度～令和7年度(予定)

都市計画道路元町人磨線（第1期区間）は、平成26年12月に国土交通省より事業認可を受け、国の交付金事業（街路事業）として整備を進めています。

■ひとまる大橋 標準断面図



期待される整備効果

地域の活性化を図ります

- 市街地のアクセス利便性が向上します
- 周辺道路の渋滞が緩和します
- 地区間の交流促進が期待されます

整備効果
その1

安全・安心な道路ネットワークを形成します

- すれ違いがしやすくスムーズな移動が可能になります
- 自転車と歩行者の安全な通行空間を確保します
- 耐震性能の高い、防災に優れた橋を整備します

整備効果
その2



須子中線 道路事業

■事業概要

路線名 3・4・15 須子中線
工事延長 280m
車線数 2車線
道路幅員 10.5m
(車道7.0m、歩道3.5m)
概算事業費 約16億円
事業年度 平成25年度～令和7年度(予定)

都市計画道路須子中線は、国の交付金事業（道路事業）として、平成25年に事業着手し、整備を進めています。

凡例
車道
歩道
法面
構造物
関連道路